

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 128 号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（会長 金究武正）

発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5 F

TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)

<http://www.kanagawa-iguren.com>

2013年7月号 【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 <2013 年定期総会ご報告> **事業所名称変更** …………… 1、2
- 第 26 回先端技術見本市： テクノトランスファー in かわさき 2013 …………… 3
ふくおか会計事務所【 連載 4 】 公認会計士・税理士・中小企業診断士 福岡 雅樹
- 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の報告 (その 12) …………… 4
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 …………… 4、5、6、7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー …………… 8

【 神奈川イグレンご案内 】

<神奈川県異業種グループ連絡会議 2013 年度 (第 30 回) 定期総会報告>

広報：宗和

【日 時】 : 2013 年 6 月 24 日 (月) 15:00~16:00 時、総会記念講&討論会 16:00~17:15

【会 場】 : 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 6 F 大研修室にて

<前年度報告> : 【サロン事業】・・・河川・冠水警報システム普及展示セミナー開催

戸塚区役所跡地活用まちづくりプロジェクト発足
6次産業化、大根ドロップの販路拡大 など。

【JICA 研修事業】 バングラディッシュ・ネパール・パキスタンなどの南西アジアの方々の研修事業。2005 年より以降実施してきた研修事業は今年度で終了。

【 国際交流 】 JICA 草の根技術協力事業の応募検討。国際ビジネス推進プロジェクト準備

【関東学院大学調査研究活動受託】 関東学院大学生見学ツアーと産学連携大成功

【商業プロジェクト】 県産木材の利用について、野毛、藤棚商店街活性化プロジェクト

【中小企業政策問題】 「中小企業振興条例活用大運動企画案」

【県消費生活課受託事業】 「お葬式情報案内センターのセミナー開催」

【その他】電話回線の光通信化及びインターネットの環境整備、ホームページリニューアルなど

<2013年決議事項>

【 事業所 名称変更 】

この度、総会にて以下の通り名称変更行う事が承認されましたので皆様にご案内申し上げます。

【 旧名称 】 神奈川県異業種グループ連絡会議



【 新名称 】 神奈川県異業種連携協議会

略称は「神奈川イグレン」です

<名称変更の背景>

昭和59年より30年近く活動を続けてきた「神奈川県異業種グループ連絡会議」はその名の通りグループ間を中心とした交流活動を行ってきました。更に企業間連携については企業から相談を受け、問題解決策として様々なプロジェクトを立ち上げてきました。

ところが近年、「新連携」「ものづくり法」「地域資源活用促進法」など時代の変化に伴い以前のような受身の相談でなく自らが仕掛けた連携作りをするようになりました。その中で生まれてきたのがまさに、まんでんプロジェクトの様な航空機・宇宙開発などの部品製造を担うプロジェクトだったわけです。

このように、神奈川イグレンは様々な分野で連携を推進しています。現在、次のステップとして稼働しているのが「新事業・新技術フォーラム」です。

このように時代の変化に伴い、グループ連絡会議を改め企業間の連携を更に大規模に推進するためこのたび名称を変更するに至りました。

平成25年度のイグレン事業計画（案）では現在行っている新規事業体づくりを目的とした「事業化プロジェクト」方式がますます重要であると考え、自らが仕掛けた連携体づくりに新たに挑戦します。既に「新事業・新技術フォーラム」で芽吹いていますが更に「国際ビジネス推進プロジェクト」や「医療・福祉関連プロジェクト」づくりを推進。また中小企業の事業環境支援のための「中小企業振興条例」の活用を鑑み、横浜市の行政区への提案活動や川崎市への条例づくり活動を展開します。具体的内容は下記の通り。

- I、かながわ異業種交流センターの機能強化、イグレン 30 周年記念事業の企画
- II、戦略的連携の推進・・・医療／福祉／健康関連産業の連携と新プロジェクトづくり
- III、新エネルギー関連・・・風力／太陽光／トリウム熔融塩炉発電／スターリングエンジンなど
- IV、中小企業振興条例による連携、要望。産学、国際連携
- V、先行分野の支援強化、商業系プロジェクトの強化、東日本大震災復興支援プロジェクト、地域サロンの運営



【第26回先端技術見本市： テクノトランスファーin かわさき 2013】

<http://www.tech-kawasaki.jp/ttk2013/open.html>

広報：宗和

今年は「技術が創る新たな時代」をテーマに「オフィス・ビジネスユース」「産業機器関連」「環境・福祉・防災」「企業ネットワーク」「産学連携」の5部門に分け工業製品やソフトウェアなど多岐にわたる新技術・新製品研究成果などの発信がなされました。開催期間は平成25年7月10日（水）～12日（金）の三日間。開催場所はいつもと同じ、かながわサイエンスパーク（KSP）です。溝の口駅から無料のシャトルバスが出ており10分間隔で運行していますがどのバスも常に満員。いかに多くの方が来場されているかが分かります。例年多くの人で賑わうこの会場に私は二日目に伺いました。全体を歩いて特に感じた印象を端的に表現しますと「熟練」「独自性」「見える化」です。製造関係の中小企業にとって、熟練した卓越された技術の活用はとて大切であることは言うまでもありません。今までの様に本業一筋でやるという時代から生き残りをかけた多角的なビジネス展開をしているところがほとんどで、もともとの本業はこれだったのですね……。ということもありました。また「見える化」については今まで分かりにくかったグラフや数値を視覚変換することで専門知識を持たない営業マンであってもより理解しやすく相手の行動要請につながりやすいのではないかと感じました。来年はどのような企業が出展されるのか楽しみです。



ふくおか会計事務所
公認会計士・税理士・中小企業診断士 福岡 雅樹

<http://www.tax-fukuoka.com/about/index.html>



税制関連【連載 その4】 【社長が有する自社への貸付金の処理について】

自社の業績が悪化しているために、資金繰りの都合上、社長が会社に対して貸付けを行うケースは少なくありません。貸付けを行った後に会社の業績が回復し、貸付金を回収できればいいのですが、回収が見込めない場合、どのような課税関係となるのでしょうか。

回収が見込めないため債権放棄を行う場合、会社の側では、債権放棄が行われることによって、借入金相当額の債務免除益が計上されます。業績の悪い会社であれば繰越欠損金があることが多く、この繰越欠損金と相殺されることによって税金が発生しないことも考えられますが、債務免除益を相殺するに足る繰越欠損金がない場合、思わぬ税金が発生してしまうこととなります。繰越欠損金は会計上の欠損金額とは似て非なるものであり、税務固有の概念です。繰越欠損金は繰越期間が定められており（現行では9年間）、それ以上経過すると消滅してしまいます。このため繰越欠損金額は、貸借対照表上の欠損金額よりも小さい金額であることが多く、タックスプランニングを行う際に注意が求められます（繰越欠損金の金額は、法人税申告書の「別表7」で確認できます）。

他方、社長の側から見た場合、回収困難な貸付金はどのように取り扱われるのでしょうか。貸付金も相続財産であるため、貸付金を保有したまま社長に相続が発生すると、貸付金も課税対象となります。相続財産として評価する場合に一定の要件を充足していれば、評価額を減額することは可能ですが、減額できるのは債権金額の全部または一部が、課税時期において会社更生手続の開始の決定があったとき等に限定されており、減額するための要件は厳しいものとなっています。そのため、社長個人の観点からは、貸付金の金額を債権放棄等の方法で少なくしておくことが望ましいのですが、債権放棄によって会社で生じる法人税等も視野に入れながらタックスプランニングを行うことが求められます。

★「新事業・新技術支援フォーラム」は過去に遡って皆様にご報告いたしております。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の経過報告(その12)

神奈川イグレン事務局 松井利夫

第24回フォーラムは平成25年5月21日に開催。最初に鶴野氏からスターリングエンジンのその後について説明があった。それによると、先日の試験中に、金槌でたたくような金属音がピストン運動と同期して発生したのでエンジンを分解したところ、摩擦痕が見られた。原因はテフロンリングがすり切れて、ピストン上面のエッジがシリンダ面に食い込んだためであるとのことであった。本エンジンは始動用モーターとエンジンをタイミングベルトでつなぎ、エンジン始動をモーターで駆動するようになっているが、加熱器と冷却器の間の圧力差を増大させるとタイミングベルトが踊り出して歯車から外れる。タイミングベルトが踊る原因を突き止めて根本的な対策を講ずる必要があるとのことであった。これに対して、鈴木氏から、50年以上も前に、浦賀重工において、アメリカ製エンジンでこれと同じような摩擦痕を見た経験がある、と発言。9気筒や12気筒の星形エンジンでは暴れるという問題は解決済みである。かじりがあるというのは、エンジンに問題があるのではないかと指摘があった。テフロンは鉄をかじってしまうのでカーボンにすべきであると提案があった。鶴野氏からは、本エンジンは内燃機関とメカ的に相当異なるので設計者も相当戸惑ったように感じられる、と発言。また、NEDOの委託目標を達成することが目的ではなく、実際に売れるものを作ることが目的である。委託事業の成果物は国の財産になるので、このまま開発を続けるとなると、NEDOから、委託金5,000万円より少ない4,500万円で買い取ってくれと言ってくるかもしれないとの発言があった。引き続き開発を進めるにはこの後更に1億円の金が必要になる。ここまでやって来たので次の開発を引き受けていただけるようなチームと組めないかと考えている、とのこと。

次に、栗田氏からメガソーラーの件で説明があった。計画中の箇所は、構造物でなく建築物として説明しているが、建築基準法では屋上にソーラーを設置する場合、下に人が入るようなところに設置するものは建築物とされる。従って、補強工事が必要であり電気事業法にも縛りがあり、補強のためのお金がかかるので保留になっている、とのことであった。次に、石川氏から、「再生PETメッシュシート」のその後について説明があった。それによると、まだバリがでてしまい製品化できていないとのことであった。これに対し、メンバーからいろいろの助言があった。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

第56回三浦半島経済人サロン感想

神奈川イグレン 常務理事 八幡敬和

「アジアでのものづくりの現状と課題」とし題して海外での技術指導歴20年の山本俊夫先生にお願いしたが、テーマの取り上げ方から時間が足らなかったことを反省している。特に印象に残ったのは、もともと低賃金が魅力で海外進出したものの新興国の賃金は上昇の勢いが止まらず、平均月収は中国5万円、タイ国2.5万円、インドネシア2万円といった現状である。そこで日本の製造業は中国→タイ→インドネシアと移っている。今はものづくりよりもサービス業の海外進出の勢いが強い。

今後の問題は、①良質の労働力を如何に集め教育するか。②激化する製品市場に勝つためのコストダウン。③現地マネジメントの活用などを検討すべきである。特に一人っ子政策の影響で中国の若者たちの労働意識は先進国並みになり、農村労働力は奪い合いで定着性に問題が出ている。現地の情勢をよく勉強しないで行くと失敗の可能性が高い。このようなことから国内回帰の動きもあるが、中国からの撤退は簡単ではない。

異業種交流会シフト 2 1 【<http://shift21.jimdo.com/>】

有村 知里

< 8 月 定 例 会 >

【日 時】 8 月 6 日 (火) 18:30~20:20

TKP 横 浜 ビジネスセンター・カンファレンスルーム 7A

神 奈 川 区 鶴 屋 町 3-30-8 SY ビル

テ ー マ 「 企 業 に お け る 危 機 管 理 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 重 要 性 に つ い て 」

講 師 和 光 大 学 経 済 経 営 学 部 准 教 授 小 林 猛 久 様

不祥事などの危機に際した企業の対応、特に新聞発表や謝罪記者会見におけるコミュニケーションに失敗すると、利害関係者や世論の理解を得ることができないばかりか、事態が思わぬ方向に進み倒産してしまうほどの損害を招きます。

例えば、「ささやき女将」が有名になった船場吉兆が、発表内容に偽りがあったり、何度も発表内容の修正や変更を行ったりすることで、食品偽装の事実に加えて、経営者としての人間性や信頼性をも失い、最終的に廃業の道を進んだことは、特徴的です。そこで、企業不祥事や事故など危機発生後にどのように事態を収拾するかという観点に基づき、危機管理広報の成功事例や失敗事例を分析し、危機を最小限に収めるコミュニケーションのあり方について考えます。

■異業種交流会シフト 21 とはシフト 2 1 は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に定例会 (原則第 2 火曜日) を開催しております。ゲスト参加大歓迎です。お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。
(arimura-c@nifty.com)



<http://www2.manten-project.org/>

瀧澤 清

まんてんプロジェクト活動状況

パリ・エアショウに会員企業が出展

The 50th Paris Air Show が 2013 年 6 月 17 日～23 日の 7 日間にかけてフランス・パリ郊外のル・プールジェ空港で開催された。

同エアショウは、イギリス・インターナショナル・エアショウと交互に隔年で開催される航空宇宙機器の見本市で、エアバス、ボーイングをはじめ航空機メーカーと関連企業は 2000 社を超えて出展する世界最大の見本市で、展示された航空機は 130 機と報告されている。

まんてん会員企業は、2007 から参加し海外情報を得る貴重な場として、海外からは日本の中小企業と接点があったと評価され以来、毎回苦勞をしながら参加してきたこともあり、今後も参加の方向で情報提供を行ってゆく予定である。

(次号で出展企業よりの報告)

平成 2 5 年度定期総会と定例会が 6 月 2 5 日 (火) 開催され本年度の活動方針が承認されました。

定例会は以下のテーマで最新の動向を主にした講演開が行われた。

「拡大する複合材料の市場と技術動向」

KYC-JAPAN 代表 山口泰弘氏

「航空機用難削材の切削加工」

元 IHI 航空宇宙技術本部所属 藤懸 清氏

【 C & S グループ 】

C & S 会 長 松 井 利 夫

総会の決定に従って、目下、今年度のセミナー実施計画を検討中です。決まり次第お知らせします。今月は、昨年度実施した4つのセミナーの内の一つを紹介します。

1. テーマ：「海外進出支援のための課題と対策」～最新情報に基づく中国・アセアンでのもの作り～
2. 講 師：中小企業診断士 山本 俊夫 (C&S会員)
3. 開催日：平成25年3月13日に講演いただきました。

〈セミナーの概要〉

講師の山本会員は、20年以上にわたって中国、アセアン諸国を中心に、海外進出の立ち上げ、工場管理としくみ作り、品質/生産性の改善、現地人教育と多岐にわたって支援してきた実績があります。

セミナーでは、最初に、海外進出の背景、アジア主要国の経済成長率、拡大するアジア拠点、中小企業の海外進出(直接投資)の状況などについて資料を示しながら説明がありました。次に、海外進出に当たってのポイントの説明がありました。ポイントの第一は海外進出の目的を明確にすることであることは言うまでもありませんが、特にフィジビリティ(企業可能性調査)は絶対に欠かせないと強調されていました。勿論、調査には限界もありますが、重要項目についてはカテゴリー別に分けて必要情報のチェックリストを作る必要があります。大項目には、次のような項目が考えられるとのことでした。

- ①自然環境、②国州/地域別(政治動向、民族等)、③給与水準、④労務管理、⑤原材料手当、⑥工場建設関連、⑦販売関連、⑧総務関連

次は、本セミナーの目玉である国・地域別の進出事情の説明がありました。

1. 中国進出のポイント・・・従来の進出目的は、コスト削減、労働力の確保等であったが、最近の状況は、人件費の高騰によるコストアップ、沿岸都市における労働力不足などにより、コスト低減や労働力確保より中国市場開拓・拡大や原材料の確保という目的に移さざるを得なくなりつつあるとのことでした。

2. 中国の特殊性

第1は、「人件費の上昇」：2012年に入って中国政府は最低賃金を平均10%以上、内陸部では、20%以上も引き上げた。

第2は、「市場競争・価格競争の激化」：外資系企業の優遇税廃止と相まって、利益は減る一方である。

第3は、「労働者の権利意識の高揚」：労働争議が多発している。撤退は相当の返り血を浴びる覚悟がなければならぬ。

この他、中国に関しては、もの作りの課題と対策について説明がありました。次に、アセアン10カ国でのもの作りについて説明がありましたが割愛させていただきます。もっと詳しく知りたい方は直接、講師に問い合わせただいか、事務局にご連絡をください。

(山本会員：yamamoto5966@ybb.ne.jp)

「高齢者孤立防止のための事業化研究会」 別紙ご参照ください

人の手と手がたが福を考る
 深刻な社会問題「孤立防止」あなたならどうしますか
 第1弾 高齢者の実態と今求められる支援とは・・・
 ほしい支援とできる支援を結ぶ
 共に考え、人の息づかいが聞こえる高齢社会を支える
 新たな事業の創造に向けて

【日 時】8月10日(土) 10時【場 所】中小企業センター14階 多目的ホールへ

問 合 せ 先

【C&Sグループ事務局】

神奈川県中小企業センタービル5階 神奈川県
 県異業種連携協議会 事務局内
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
 電話：045-228-7331 (FAX 兼用)

会 長 松 井 利 夫、事 務 局 長 杉 本 明 子
 ホームページ：

<http://www.kanagawa-iguren.com/c-and-s/>

主 催：NPO 法人 いのちとこころ 担当出口
 090-8942-4022

E-mail: lesson@inochi-kokoro.or.jp FAX045-743-9972

共 催：神奈川県高齢者孤立防止支援協議会
 (神奈川県異業種連携協議会)

担 当：芝 090 - 4222 - 5746

第141回・日韓ビジネス協議会

高橋 導徳

1. 日時：2013年7月24日（水）午後3時00分～5時15分 協議会、その後 懇親会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル・・・5階会議室
かながわ異業種交流センター（異業種連携協議会）TEL：045-228-7331
3. 内容： ○韓国・全羅南道の紹介・・・全羅南道大阪通商事務所
所長 金 善鶴(キム ソンハク)氏（40分程度）

○インドセンター紹介・・・一般社団法人横浜インドセンター 事務局長 岡本 孝夫氏（20分程度）

○メイン講師：グローサクストコンサルティング株式会社 代表取締役社長 橋本総合特許事務所 所長
弁理士 橋本 虎之助氏（45分程度）

タイトル：「企業の知財リスクの状況とその対応のあり方」

講演要旨： 企業活動では様々なリスクが顔を出す。最大のリスクの一つが知財リスクである。
知財リスクとして、模倣品問題、技術流出問題、知財関連訴訟問題等がある。本講演では、知財リスクの現状
と問題等を踏まえながら、企業がどのように知財リスクに対応するかを探っていきます。

【神奈川イグレンよりのご連絡】

8月12（月）～8月16日（金）までお休みをいただきます。

但し、16日の尾上町サロンは開催しますのでご予約のつく方は参加をお願いします。

< 中小企業見学ツアー第1回～3回についてのご報告 >

神奈川イグレンでは関東学院大学キャリアセンターと共催し平成22年度から学生を対象とした中小企業見学ツアーを開催しています。初年度は新潟「先端技術研究会」と組み新潟県内の中小企業を見学。

23年度は神奈川県内、24年度は神奈川・東京の企業を一泊二日の日程で訪問。中でも24年度は29人の学生が参加され宿泊研修交流会が行われました。見学先の企業経営者も参加し、総勢40名で交流会が催され学生自らが直接、経営者から話を聞けることもあって遅くまで話し込む人もいたり大盛況でした。

大学側も予想以上の効果が現れるのでイグレンに対し高い評価を頂いています。

学生の反応は参加者全員が「満足」の評価で、参加者の8割以上が中小企業のイメージが向上したとの回答を得ています。全体に共通していることは社長さんの熱い想いや熱意が伝わった。という意見。また、中小企業の人々が日本の技術や社会を支えているのだということを実感したという意見も多数寄せられています。このような産学連携を神奈川イグレンでは行っています。

このツアーの目的は直接的な「就活」でなく、日本経済の中で果たしている中小企業の重要性を理解し、将来、大企業や公務員に入っても、中小企業の役割を認識してもらい、あるいは「就活」の対象として改めて中小企業を選択肢の一つとして考えるということや「社会人」としての自覚を高めることが目的です。

産学官交流サロンコーナー (お申し込みは下記まで)

	尾上町サロン	西湘サロン 第46回	三浦半島経済人サロン 第57回	神奈川新産学公交流 第57回 サロン横浜
日程	7月19日(金) 8月02日(金) 17:15~19:30	9月9日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	7月18日(木) 18:00~20:30 開場は17:30~	調整中 18:00~20:00 20:00~交流会
場所	神奈川県中小企業センター5階 イグレン事務所	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター 5階 会議室 イグレン
連絡先	046-235-6661	イグレン(島津、吉池、)	イグレン(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	ざっくばらんに語りながら交流を深めましょう。 参加費:1,000円	「セルフ・ケア支援システムを用いた健康管理」 (株)HSP 研究所 所長 医学博士 高橋為生 氏 (詳細は別紙にて) 参加費:1,000円	「ストレスなく病気を予防しましょう」 薬の美採(ミドリ) 代表 小磯 清子 参加費:1,000円	参加費:1,000円

7月に入り梅雨らしい体感をせぬままいきなり猛暑。連日暑い日々が続いています。

熱中症のほとんどは気が付かずに……。という場合が多いものです。怖いのは意識はあるが一度倒れ込むと自力では動けない位になってしまうことです。人間の体の70%以上は水で出来ており、ほんの数%の濃度の違いでクラツとすることがあります。私達の体は本当にデリケートにつくられています。この暑い夏を乗り切るにはこまめに水分をとることが推奨です。まだまだ暑い日が続きますので皆さん、健康管理には十分お気を付けこの夏を乗り切ってください。



「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。

とか、思いもしなかった出合いでこんな事になりました……。など原稿を募集中です。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください (無料)

【月】①③④荒 直孝 ②⑤宮川 豊【火】①③⑤児玉 英二 ②④八幡 敬和【水】①愛賢司②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】松井 利夫 【金】①菊地(芝) ③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com